

これから梅雨や台風の襲来等により、土砂崩れや河川の氾濫など災害が発生しやすい時期を迎えます。昨年の台風26号に伴う東京伊豆大島での集中豪雨では尊い命が失われています。災害はいつ発生するか分かりません。日ごろから災害に対して備えておきましょう。

### ◎集中豪雨

短時間のうちに狭い地域に集中して降る雨のことで、梅雨の終わりによく起こります。狭い地域で突発的に降るため予測は困難です。

気象情報（雨量）などに注意して自主的な避難を心がけ、市役所からの避難勧告などがあった場合は、速やかに避難しましょう。



### ◎土砂災害

雨が1時間に20ミリ以上降ったり、降り始めの雨量が100ミリを超えたときは危険信号と言われています。家周辺の山やがけに危険な前兆現象がなにか確認し、災害発生のおそれを感じ

たら、早めに安全な場所へ移動しましょう。

また、土砂災害は雨が降り止んだ後も発生するおそれがあります。次のような前ぶれに注意しましょう。

#### ◇がけ崩れの前兆

- ・がけからの水が濁る。
- ・がけに亀裂が入る。
- ・小石が落ちてくる。
- ・がけから音がする。

#### ◇土石流の前兆

- ・山鳴りがする。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

#### ◇地すべりの前兆

- ・川が濁ったり、流木が流れる。
- ・地面にひび割れができる。
- ・井戸や沢の水が濁る。
- ・斜面から水が噴き出す。
- ・建物や電柱、樹木が傾く。

### ◎早めの避難

避難等の呼びかけがあったときは、火元の確認をし、事前に準備した非常持ち出し品や貴重品を持って避難しましょう。避難するときはなるべく単独を避け、近所で声をかけ合い協力し合

って早めに避難しましょう。高齢者や乳幼児、疾病者など「災害時要援護者」などは、避難情報がでてからでは避難行動が間に合わないこと



サイレンによる伝達

#### 『火災の場合』



#### 『避難勧告の場合』



# 避難しましょう

もありません。また、一人暮らしの高齢者に対しては避難情報が伝わりにくいという問題もあります。

異常を感じたときは、隣近所で声をかけ合い協力しながら災害時要援護者を避難所へ誘導しましょう。

### ◎防災活動への参加

大規模な災害の場合には、防災関係機関による活動が困難になる場合も考えられます。地域の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識を持ち、自主的な防災活動を行うことも大切なことです。地域ごとに自主防災組織の活動を積極的に進め、

### 避難情報の種類

#### ＜避難準備情報＞

高齢者等で避難に時間を要する人に避難を始めてもらうように発表する情報。

ガスなどの火元を消し、非常持ち出し品を準備するなど避難の準備を整え、支援が必要な高齢者や乳幼児、体の不自由な人などの避難を開始してください。



## 伊佐市避難施設一覧表

地区名	避難場所	電話番号	地区名	避難場所	電話番号
市内全域	大口元気こころ館(◎福祉避難所)	㉓ 2361	川北・前目・川南	菱刈中学校	㉔ 0047
	まごし館(◎福祉避難所)	㉔ 4120		菱刈小学校	㉔ 0010
大口	大口ふれあいセンター	㉔ 1613	下手・前目・徳辺	いきがいセンター ※ 1	㉔ 3000
	大口小学校	㉔ 0349		田中小学校	㉔ 0029
	大口生活改善センター	㉔ 8413	市山・花北・田中・重留	田中ふるさと館	㉔ 5288
	元町青少年会館			本城小学校	㉔ 0054
	大口東青少年センター	㉔ 0263		本城校区集会施設	㉔ 4639
牛尾	牛尾小学校	㉔ 0264	川北	湯之尾小学校	㉔ 0114
山野	山野基幹集落センター	㉔ 0407	川北・川南	湯之尾校区公民館	㉔ 4261
	十曾フレンドハウス	㉔ 0959		前目	菱刈人権文化センター
平出水	平出水「いなほ館」		永池	南永小学校	㉔ 3980
羽月	羽月地区公民館	㉔ 0355	五色・新川・弓掛・新拓	新川地区集落センター	
	大口南中学校	㉔ 2125		山田・大山口・山田中原	菱刈ひまわり館
羽月北	羽月北小学校	㉔ 3114	一覧表の避難所以外に各自治会で定められた避難場所もあります。 ただし、自治会指定避難所に避難した場合は、自治会長から市役所に人員等の報告をする必要があります。		
羽月西	羽月西青少年センター	㉔ 2111			
曾木	曾木小学校	㉔ 1152	※ 1 いきがいセンター：菱刈ふるさといきがいセンター		
	西太良地区コミュニティセンター	㉔ 1121			
針持	針持青少年センター	㉔ 1140			
布計	布計地区多目的集会施設				

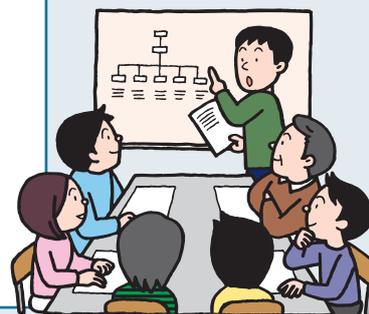
◎福祉避難所とは、避難をした際に手助けが必要な人が避難する場所です。



# 災害に備え早めに避

災害から身を守るために大切なことは、早めに避難することです。日ごろから避難場所や避難経路を確認し、テレビやラジオ、インターネット等の気象情報に普段から注意する習慣をつけ、危険を感じたり避難指示等があったときのために、貴重品や非常持ち出し品を持って安全な場所へ避難できるよう備えておきましょう。

また、避難するときは単独での行動をなるべく避け、隣近所の人と協力しながら安全な場所に避難しましょう。



日ごろから訓練などに参加しましょう。

### ＜避難勧告＞

災害発生のおそれがあり、皆さんに避難を始めてもらうときに発表する情報。

準備した非常持ち出し品を持ち、指定された避難所や安全な場所へ速やかに避難を開始してください。避難の際はがけ崩れや浸水箇所に注意してください。

### ＜避難指示＞

災害発生の危険が非常に高く、すぐに避難してもらうときに発表する情報。

一刻も早い避難が必要です。関係機関の指示に従って、避難を開始してください。避難所への避難が困難な場合は、とりあえず丈夫な建物の2階以上（斜面と反対側）に避難するなど、

生命の危険をさける行動をしてください。

問い合わせ先  
総務課 交通消防防炎係

☎ ㉓ 1311

